

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 6 区分
 【発行日】平成28年1月7日 (2016.1.7)

【公開番号】特開2014-84175(P2014-84175A)
 【公開日】平成26年5月12日 (2014.5.12)
 【年通号数】公開・登録公報2014-024
 【出願番号】特願2012-247861(P2012-247861)
 【国際特許分類】

B 6 5 D 81/38 (2006.01)

B 6 5 D 3/22 (2006.01)

B 6 5 D 81/34 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 81/38 E

B 6 5 D 3/22 C

B 6 5 D 81/34 D

【手続補正書】

【提出日】平成27年10月23日 (2015.10.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

開口部が形成され胴部外周にエンボス部が形成された樹脂製のインナーカップと、該インナーカップに被覆する紙製の外筒とを備えた断熱カップであって、
 前記インナーカップのエンボス部を、凸状菱形部を構成単位面とする複数個の同一形状の凸状菱形部を連続して形成し、前記インナーカップ胴部外周に隆起したパターンを形成し、前記インナーカップの胴部外周と前記外筒の胴部内周との間に空隙部を形成したことを特徴とする断熱カップ。

【請求項 2】

前記各凸状菱形部が、中央に頂部を備え、該頂部と前記外筒の胴部内面とが点接触し前記インナーカップより前記外筒への熱伝導を少なくして断熱に寄与する構成に形成されていることを特徴とする請求項 1 に記載の断熱カップ。

【請求項 3】

前記インナーカップが、単層ないし 2 層以上の熱可塑性樹脂シートにより成形されていることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の断熱カップ。

【請求項 4】

前記インナーカップが、最内層、中間層、最外層を持った 3 層構造の熱可塑性樹脂シートにより成形されていることを特徴とする請求項 1 ないし 3 いずれか一項に記載の断熱カップ。